下野市立祇園小学校　令和8年度　学校だより　第7号

ぎおんばら

チャレンジ（挑戦）を　続ける　学校

目指す子どもの姿
- ○健康で明るい子
- ○進んで学ぶ子
- ○心の豊かな子
- ○地域とつながる子

祇園小学校ホームページはこちら

令和8年11月吉日発行　発行者　校長　髙山　靖子

◆ 正直に言えない子の心の中で起きていることは・・・ ◆

子どもたちは、日々の生活の中で、時には間違ったことをしてしまったり、やるべきことをやらなかったりと、「失敗した！まずい！」という事態を自ら起こすことがあります。（ここで言う「失敗」は、挑戦してうまくいかなかったことではなく、いわゆる「やらかし」や「しくじり」のことです。）そんな時、すぐに正直に言える子もいれば、なかなか本当のことを言えず、隠す・嘘をつく・黙る・逃げる・人のせいにする・言い訳する・怒る等の行動をとる子もいます。小学生は自分の感情をコントロールしたり、失敗の責任を受け止めたりする力が発達途中です。そのため「怒られたくない」「恥ずかしい」「悪い子だと思われたくない」「自分を守りたい」という気持ちが行動に表れやすくなります。 その背景には、「①失敗を認めると怒られるという経験②失敗すると自分の価値が下がるという思い込み③完璧でなければならないというプレッシャー④自分の行動の結果を予測する力の未熟さ⑤周囲の大人や友達との信頼関係」などが考えられます。子どもに「正直であることの大切さを教える」だけでは不十分です。正直に話したことでさらに強く責められることは決してなく、「正直に話しても大丈夫。と思える安心感」と「そこからやり直すことができる。という経験の積み重ね」こそが、正直に向き合う力を育てる鍵になります。

失敗を認め、正直に伝え、責任をもち、次に生かせる子を家庭と学校が協力して育てていきましょう。

間違ったことをした時、正直に言える子を育てるための具体的かかわり～5つのステップ～

ステップ1：正直に報告できたことを認める



「話してくれてありがとう」
「自分から言えたことが
すごく大切だよ」

まずは安心感を与え、嘘をつく必要をなくします。

ステップ2：失敗の原因を一緒に考える



「どうしてこうなった
のかな？」
「何が起きたのかな？」

感情的に責めるのではなく、客観的に事実を観察します。

ステップ3：自分の行動を振り返らせる



「自分でできる
ことは何かな？」

大人が答えを出すのではなく、子ども自身の「気づき」を引き出します。

ステップ4：失敗を修復する経験をさせる



「どうすれば
元に戻せるかな？」
「何て伝えれば
わかってもらえるかな？」

謝るだけでなく、実際の行動で責任を果たす方法を学びます。

ステップ5：次の行動につなげる



「同じようなことが
あったら、次はどう
してみようか？」

失敗を「終わり」にせず、未来の賢い選択のための「道しるべ」にします。

最も大切なこと：「安心」と「責任」のバランス



失敗を認めたら何でも許されるわけではありません。
正直さを認めることと、必要な責任を果たすことを
両立させることが、本当の成長に繋がります。

～目指す子どもの姿に近づけるための具体的な教育活動を4つの柱と関連付けてご紹介していきます。～

健やかな体を育む

仲間とともに全力で挑戦した運動会　10/31





子どもたち自身が話し合って決めた今年の運動会のスローガンは「きずなを深め勝利に向かって走り切れ」でした。自分のもつ力を出し切って力一杯走った徒競走や障害走、仲間と作戦を立てて力を合わせた団体競技、動きのタイミングや隊形をそろえて心を一つに表現したダンスやフラッグ、一生懸命に役割を果たした係活動、どれも全力で頑張る子どもたちの姿は輝いていました。「自分一人ではできないことも、仲間とならできる」という大切な経験ができた運動会となりました。温かい応援、子どもたちの力になりました。準備や片付けのご協力もありがとうございました。

英語でコミュニケーション DAY　11/13

下野市内の各校に配置されている全 ALT8名が、祇園小へ集結して、子どもたちと英語でのコミュニケーションを楽しむ授業を行いました。学年ごとに1時間ずつ、8名の ALT とゲームやクイズ、インタビュー等の活動を通してたっぷり英語に触れ英語を使い楽しみました。どのコーナーからも歓声と笑顔がいっぱいでした。





確かな学びを育む

物語文の読みを深める　10/28

4年生の国語で代表的な物語文の教材「ごんぎつね」を使って、登場人物の心情の変化に焦点を当てて読み進める授業を行いました。まず自分で感じたことを自分の言葉で表現し、友だちと考えを伝え合うことで共感したり、新たな気付きが生まれたりして、考えに広がりや深まりが見られることをねらった授業でした。





豊かな心を育む

一人一人の良さを自信につなげる児童表彰式　6年　11/17

6年生49名が、これまでの小学校生活の中で見せてくれた頑張りや素晴らしさを讃える賞をいただきました。坂村市長様からメダルを、石﨑教育長様から表彰状をいただく姿は、とても立派でした。自分の良さを知ることは自信につながります。自信を心のエネルギーにしてさらなるチャレンジを！





地域とつながる力を育む

南河内第二中学校の先輩方から学ばせていただきました

夏椿祭の見学 10/28



南河内第二中の学校祭（夏椿祭）に、5・6年生がお招きいただき、中学生の工夫を凝らした催しに参加させていただきました。教室の装飾や仕掛けもスケールが段違いで、小学生も楽しめるよう考えられた内容に、さすが中学生！！と感動しながら楽しんでいました。

また、祇園小へ中学3年生が来校し、素晴らしい合唱を聴かせてくださいました。声量の大きさとハーモニーの美しさに驚いて聴き入っている小学生でした。

小中音楽交流 11/5



しいたけの栽培体験　2年　10/19

下野市自然に親しむ会きのこ部会の皆様と、株式会社北研のご協力で、椎茸の栽培を行いました。きのこには様々な種類があることや、菌床を使っての椎茸の育て方を教えていただきました。

子どもたちは毎日椎茸が出てくる事を楽しみに水やりをしていました。



ふくべ細工絵付け体験　3年　11/6



ゆうがおの実をふくべ細工として加工できるようにするには約3年もの時間と手間がかかるそうです。そんな貴重な素材を下野市ふくべ振興の会の皆様が、3年生全員に準備してくださり、絵付けの体験を行うことができました。球面に絵を描くのに苦戦しながらも全員完成させることができました。

